



# 自立支援型ケア会議について

## 『自立支援型ケア会議』

今年に入って以降、このワードを耳にし始めた方も多と思います。

令和5年度の集団指導の中でも、自立支援型ケア会議に対する協力依頼について通知されました。

この会議は、提出された事例に対する自立支援について、専門職を交えて検討するものです。

令和5年度までは、

- ・旭川市が主催
- ・地域包括支援センター直営のケアプランが対象 でした。

令和6年度からは、

- ・地域包括支援センターが主催
- ・居宅介護支援事業所のケアプランが対象 へと変わります。

旭川市に在籍する居宅介護支援事業所の皆さまは、旭川市から指定された担当の地域包括支援センターの自立支援型ケア会議へ、ご担当のケアプランを提出いただくことになります。

「いつ出すことになる?」「どんなプランを出したらいい…?」「書類提出が大変…?」「何回出すことになる…?」等々、皆さまの方でも心配や不安を持たれているのではないかと、思います。

ちなみに皆さまの事例提出時期については、当センター担当の各事業所から日程希望をお伺いし、センター内で調整後改めてお知らせしたいと思います。

大変申し訳ありませんが、必ず全事業所のご希望に添えられる、ということではありませんので、予めご了承下さい。

今回は、自立支援型ケア会議とはどういうものなのか、また、どのようなプランを提出したら良いのか等、皆さまが疑問を抱きそうな項目をいくつか例示してお伝えします。

## その1：事例検討ではありません

自立支援型ケア会議へ提出するケースの内容に、原則制限はありません。どのようなケースであっても“自立支援”というのは、利用者さんの個々の状況に応じて検討していけ

るものだからです。

しかし、利用者さんの生活基盤が整っておらず、課題の整理・解決が必要なケースや、それらの整備に支障があるケース（＝困難事例）に対しては、思ったほどの効果が得られない場合があります。

専門職が複数出席しますので、「困難ケースへの助言がほしい」と思うこともあるかもしれませんが、しかし、事例検討のように、生活基盤などに関する課題を含む解決方法やアプローチを検討する場ではありません。専門職はアドバイザーとして、あくまでも「利用者さんが自立した生活を送るためのアドバイス」を行う立場にあります。

そのため、先ほどお示したような「生活基盤を整えるための方法」などの検討は難しいです。

## その2：利用者さんの強みを意識しましょう

長らく状態が落ち着いていて、同じ支援を継続しているケースはありませんか？

これ以上の向上は見込めず、維持していくしかない、との判断に至ったようなケースなど。

そうした場合は、専門職からのアドバイスが新たな視点となったり、利用者さんの強みに気づくための視点が得られるかもしれません。これまで気づかなかった既存のサービスや社会資源の活用方法などが出てきたりすると、それを皮切りにケアプランがより充実したものになることもありますし、新たな視点を得られると他のケースにも応用できる場合もあります。

## その3：提出書類の内容は、完璧でなくても大丈夫です

提出書類については、[旭川市自立支援型ケア会議マニュアル内](#)で示された書類があれば問題ありません。ただ、提出に際し、ケアプランを含め「何も言われぬように完璧に作らなきゃ！」と思う方もいらっしゃるかもしれません。

確かに、ケースの情報＝検討材料は満遍なく多いことに越したことはありません。

しかし、情報が足りない部分について話があったとしても、今後その情報を収集し、以降のケアマネジメントに活かしていけばよいのです。

ケアプランの内容に対しても、この会議は『何も言われぬプランが優秀』とか『何か言われたプランはダメ』など、提出されたケアプランに対し評価を行うものではありません。あくまでも『個々のケースにとっての“自立支援”を、どのようにケアプランに反映するか』について考える場です。

## その4：皆さんが“おみやげ”をもらったような気持ちになれる、 そんなアドバイスを目指しています

中には『自分が積み重ねてきたプランに対し、何も言われたくない』とお感じの方や、上記その3にも関連して『一体何を言われるんだろう…』と不安になる方もいらっしゃるかもしれません。

そこでもうひとつ知っておいていただきたいことは、この会議に出席する専門職は『頑張って事例提出いただいたケアマネさんに、何かおみやげを持って帰ってもらおう！』との思いでアドバイスを考えている、ということです。

専門職の職種によっては、ケースの内容とマッチせずアドバイスがない場合もあり得ます。しかし、全ての専門職のアドバイスがゼロだった、という事例は過去聞いたことがありません。

また、この会議は事例提出をされたケアマネジャーを含む多職種同士が対等に話し合える場であり、ケースにおける自立支援の検討を通じて、ケアマネジャーを支えていくための場でもあります。

慣れるまでは大変と思いますが、あまり身構えずにご出席いただけますと幸いです。

とはいえ、自分はいつ提出することになるのか、順番が回ってくるまでドキドキしてしまう方もいらっしゃるかもしれませんね。

もし心配になったら、いつでもご質問・ご相談ください！

参考資料（HPリンク）

旭川市自立支援型ケア会議マニュアル

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/500/548/koureisya/sidoujyogenyobou/d079270.html>

